

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

大腸がんにおける白斑と腫瘍免疫の関係

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、大腸がんの周辺に出現する白斑の臨床的な意味を腫瘍免疫の観点から解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2017年1月1日 から 2018年10月31日 までの間に、
当院の消化器内科の内視鏡検査で大腸がんの診断を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2019年11月30日まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・ 試料：すでに病理診断に使用された大腸組織の病理組織を新規に免疫組織染色します。
- ・ 診療情報等：カルテ記載情報からは、年齢、性別、既往歴、治療歴、病変の大きさ、深達度、分化度、転移の有無を評価します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はなく、消化器内科の研究費で実施されます。そのため、いかなる利益相反もありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5446）

研究責任者 消化器内科 教授 鈴木 孝良

問い合わせ担当者 消化器内科 助教 今井 仁 水上 創